

「さくら咲く🌸」(波多野)

皆さんは桜は好きですか？私は大好きです。1番古い記憶は幼稚園の時、園庭に咲いた桜をブランコをこぎながら見ていたのを覚えています。

日本には古来からお花見の文化があり、平安時代の西暦812年に右大臣がお花見をしたのが、確認できる最も古い記録だそうです。そんな桜の見頃の時期が、温暖化の影響が少し早くなっている様な気がしますが、このまま対策を取らずに温暖化がさらに進んだ場合およそ80年後に九州の一部地域では開花しなくなるという予測結果もあると聞きました。見頃が早くなるどころか咲かなくなるなんて一大事です。

何だかそわそわして、満開を待たずに福知山城へ桜を見に行ってきました。閉場時間が近かったのですが、家族連れなどたくさんの方がいてそれぞれ写真を撮っていました。

日本のお花見文化、無くなることなく末永く続いて行ってほしいと願います。



知っどこ! 「税」の マメ知識

今月のマメ知識：【決算が近づいてからでもできる節税対策】

「今月は利益が出そうなので、決算直前でもできる節税対策はないでしょうか」という相談を受けました。このような場合の節税対策のひとつに「短期前払費用の特例」という制度があります。通常では費用の支払いを



しても、サービスの提供を受けていない来期分の「前払費用」については、当期の経費に算入することができません。しかし一定の条件を満たせば当期の経費とすることができます。その条件とは「契約によって継続的にサービス提供を受けるために支出したものである」「支払日から1年以内にサービス提供を受けるものである」「支払った金額を継続してその事業年度の経費にしている」です。例えば、決算月などに1年間分の事務所家賃を前払いする契約に変更し、その1年分の家賃を支払えば経費として算入することができます。なお支払利息のように、収益と対応させる必要があるものについては認められません。また期間限定の広告代など継続的でない場合も特例が適用されないことがあるので注意が必要です。

世界の偉人伝

今月の偉人：【アイザック・ニュートン】

ニュートンはイングランドに生まれ、物理学や天文学など多くの分野で業績を残した科学者です。リンゴが木から落ちる様子を見てひらめいたという「万有引力の法則」と「微分積分法」「光のスペクトル分析」がニュートンの「3大発見」と呼ばれています。一方で聖書の研さんを積み、錬金術に没頭し、また政治家としても才腕をふるいました。多くの成果は先人たちの業績がいしずえであるとして「私が遠くを見通せたのは巨人たちの肩に乗っていたからだ」という言葉を残しています。

気軽に Let's 英会話

今月のキーワード：【rise】

まだまだ値上げが続きそうな雰囲気ですね。物価のように賃金も上昇してくれるといいのですが・・・。

「価格上昇」は“price rise”といいます。この場合“rise”の他に“increase”や“hike”なども用いられます。“Since I had nothing to lose, I asked my boss for a raise and I got it!”は「ダメもとで給料のアップをお願いしたら受け入れてもらったの!」です。“rise”(ライズ)は自動詞で「上がる・昇る」。似ている“raise”(レイズ)は他動詞で「上げる・挙げる」という意味です。



今月のトピック：【炭焼きレストランさわやか】

静岡県限定のチェーン店「さわやか」が提供するの、目の前で熱々の鉄板に焼き付ける「げんこつハンバーグ」。同業他社の冷凍品とは一線を画す格段のおいしさの秘密は、自社工場生産し店舗に毎日直送する牛肉100%のパテ。品質とおいしさを守るため、あえて全国展開を目指していません。本物志向のチェーン店のあり方に注目です。



才人の言葉

夢は近づくと
目標は変わる

日本プロ野球とメジャーリーグで活躍したイチローの言葉。特別なことをする必要はない。今、自分ができる最善のことを懸命にやり続ければ、夢は目標になる。

レタスの鮮度を長持ちさせるには、芯の部分に等間隔でつまようじを3本、奥までギュッと差し込み、そのままキッチンペーパーで包み込んでポリ袋に入れ、芯を下にして冷蔵保存します。これで鮮度をキープできるのでレタスのシャキシャキ感も維持できます。

知得する知恵代表

振り向けばあそこにも「商売のヒント」 ここにも

今月の商売のヒント：【禅から学ぶ商売の心持ち】

姥捨山（うばすてやま）の物語をご存じでしょうか。ある男が口減らしのために年老いた母を山に捨ててに行きます。母を背負って山道を歩いていると、ときどき背中で枝を折る音がします。「さては母が、捨てられたあとに一人で山を降りるための目印を作っているな」。男はそう思いましたが、知らん顔でようやく山奥にたどりつき、母に別れを告げました。すると母は息子



に言うのです。「山を登ってくる時、お前が帰り道を間違えないように枝を折って目印をつけておいたよ。それを頼りに気をつけて里へ帰りなさい」。自分が捨てられようとしているのに、なおわが子のために道しるべを残そうとする親切心。自分のことは一切考えず、ただ相手を思いやる心。禅の世界ではこれを「老婆心」といいます。現代では「おせっかい」や「余計なお世話」と似た解釈をされがちですが、本来の「老婆心」は「利他心」に通じる心持ちなのでしょう。昔のお年寄り、見送った人の背中にいつまでも手を合わせて感謝していました。困っているように見える人には「どうしましたか？」と自然に声をかけ、ついでだからと近所の草むしりもして、泣いている子の頭を優しくなでながら「いい子だ、いい子だ」と話を聞いてあげたものです。今のような混沌（こんとん）と複雑化していく世の中では、本来の老婆心が人間関係を豊かにして、仕事や生活の潤いになるように思います。親が子を思うように、また祖父母が孫を思うように心を尽くし、ただ相手を思いやり、仕事に当たる。そう簡単にできることではありませんが「人によかれ」の心で商売することは忘れないようにしたいものです。

トナリの本棚

【方舟】

公募の文学新人賞を受賞してデビューした夕木春央の第3作。山奥の地下建築物に閉じ込められて死が迫る9人。ラストのさらにラストにあぜんとする一冊。



船越税理士法人

〒620-0054

京都府福知山市末広町1-1-1 中川ビル3階

TEL: 0773-22-3708 FAX: 0773-22-7343

<http://www.f-office301.com>

E-mail: info@f-office301.com

皆様のご感想をお待ちしております◎◎◎◎◎◎◎◎